

問1 日本の為替相場が「円高」の状態になった際、国内の経済活動に与える直接的な影響として最も適切な説明はどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 海外からの輸入に頼っている小麦や原油などの日本国内での販売価格が下がり、消費者にメリットが生じる。 | 2. 海外旅行へ行く際に必要な日本円が増えるため、海外旅行者が減少し、旅行業界に不利に働く。 | 3. 輸出企業の業績が大幅に向上するため、国内の景気を刺激し、物価が上昇する要因となる。 | 4. 1ドルの価値が以前よりも高くなることを指すため、外貨準備高を円に換算した際の総額が増加する。 |
|--|--|--|---|

問2 市場経済において、ある商品の価格が需要曲線と供給曲線の交点である「均衡価格」よりも高い水準に設定された場合、市場ではどのような現象が起こり、価格はどう変化しますか。その過程として最も適切な説明を選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 需要量が供給量を下回って品不足が発生し、生産を抑制するために価格が下落していく。 | 2. 供給量が需要量を下回って売れ残りが発生し、需要を喚起するために価格が上昇していく。 | 3. 需要量が供給量を上回って品不足が発生し、より高い価格でも買いたい人が増えるため価格が上昇していく。 | 4. 供給量が需要量を上回って売れ残りが発生し、在庫を減らすために価格が下落していく。 |
|---|--|--|---|

問3 為替相場が円安に変動した際、日本の輸出産業において「国際的な価格競争力が向上する」と言われる理由として、最も適切な仕組みを説明したものはどれですか。（2025年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 円安によって輸入される原材料の価格が下がり、製品1つあたりの製造コストを大幅に削減できるから | 2. 円の価値が下がることで、日本国内における工場の建設費用や労働者の賃金が、他国に比べて自動的に安く設定されるから | 3. 海外の消費者が日本円を大量に購入するようになり、日本製品を円建てで直接買いやすくなるから | 4. 現地通貨建ての販売価格を下げても、円に換算した際の売上を維持できるため、他国製品より安く販売できるから |
|---|--|---|--|

問4 現代の経済活動では、製品の部品を国を越えて複数の企業が分担して製造し、それらを組み合わせて完成品を作る仕組みが一般化しています。このように、それぞれが得意とする分野に特化して生産を行い、生産されたものを互いに取引する活動について、その目的や利点を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 製品の希少性を高めるために、あえて生産の役割分担をせず、一つの組織が時間をかけて全工程を行うことで付加価値を高めることができる。 | 2. 各々が役割を分担する分業を行い、生産されたものを交換することで、社会全体としてより効率的に生産を行うことができる。 | 3. 特定の企業がすべての生産工程を独占することで、価格競争を排除し、市場の安定を図ることができる。 | 4. 他国とのやり取りを最小限に抑え、すべての物資を自国内でまかなう自給自足の体制を確立し、経済的自立を強めることができる。 |
|---|--|--|--|

問5 二千二十年から二千二十二年にかけての日本、アメリカ、ドイツの経済動向について、消費者物価と製造業の賃金の変化をまとめた説明として、状況を正しく述べているものはどれですか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. アメリカでは物価が大きく上昇し、アメリカやドイツの賃金も上昇傾向にあったが、日本の賃金は横ばいであった。 | 2. 三か国とも物価は安定していたが、アメリカとドイツでは賃金が急激に低下し、日本だけが賃金水準を維持した。 | 3. ドイツの物価上昇が最も顕著であり、日本とアメリカはともに物価と賃金が連動して下落するデフレーションに陥った。 | 4. 日本はアメリカよりも物価の上昇率が激しく、それに伴って製造業の賃金もドイツを上回るペースで上昇した。 |
|---|--|---|---|

問6 需要と供給のバランスによって決まる価格を市場価格といいますが、電気やガス、水道料金のように、国民生活への影響が大きい場合、政府や地方公共団体が決定または認可している価格を何と呼びますか。（2020年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 独占価格 | 2. 固定価格 | 3. 公共料金 | 4. 均衡価格 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 2016年と2022年の統計を比較すると、日本国内で株式の購入経験がある人の割合は31.6%から33.8%へと増加しています。この動向と、購入者の商品に対する理解度の変化について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 株式の購入経験がある人の割合は増加しているが、この増加は、商品の性質を「詳しく理解している」と回答した専門的な知識を持つ層のみに限定されている。 | 2. 株式の購入経験がある人の割合が増加しており、その内訳を見ると、商品を詳しく理解している層だけでなく、あまり理解せずに購入している層の割合もそれぞれ増加している。 | 3. 将来への不安から投資への関心は高まっているものの、リスクを避ける傾向が強まったため、株式の購入経験がある人の割合は全体として減少傾向にある。 | 4. 株式の購入経験がある人の割合は増加しているが、金融リテラシーの向上により、内容を理解せずに購入する層の割合は2016年比で大幅に減少している。 |
|---|---|---|--|

問8 市場において需要量と供給量が一致し、価格が安定する「均衡価格」へと調整される仕組みについて、その背景やプロセスを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 市場の自動調節機能が働くためには、政府が介入して需要曲線と供給曲線の交点を決定し、強制的に価格を固定する必要がある。 | 2. 市場に超過需要が生じている場合、売り手同士の競争によって価格が下落し、供給量が減少することで均衡点へと向かう。 | 3. 需要曲線と供給曲線が右下がりの同じ形状を描くとき、市場価格は常に一定に保たれ、変動することはない。 | 4. 市場に超過供給が生じている場合、売り手同士の競争によって価格が下落し、需要量が増加することで均衡点へと向かう。 |
|---|--|--|--|

問9 市場において需要曲線と供給曲線が交わる点では、買いたい量と売りたい量が一致し、この時の価格は「均衡価格」と呼ばれます。もし、現在の市場価格がこの均衡価格よりも高い位置にある場合、市場ではどのような調整が行われますか。（2025年 山梨県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 供給量が需要量を上回っているため、政府が介入して生産量を制限し、高い価格を維持するように調整する。 | 2. 需要量と供給量が一致していない不安定な状態であるため、市場取引そのものが停止され、価格は消滅する。 | 3. 売りたい量が買いたい量を上回る「売れ残り」が生じるため、売り手は価格を下げ、均衡価格へと近づいていく。 | 4. 買いたい量が売りたい量を上回る「品不足」が生じるため、買い手は競って高い値をつけ、価格はさらに上昇していく。 |
|--|--|--|---|

問10 製造物責任法（PL法）が導入される以前、消費者が製品事故による被害を訴えるためには、企業側の「過失（不注意）」を証明する必要がありました。しかし、現代の製品は構造が複雑で消費者がそれを証明することは困難です。そこで、現在のPL法において、消費者が損害賠償を請求するために証明すべき対象はどのように変更されましたか。（2024年 島根県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------------------|---------------------------|------------------------|--------------------------|
| 1. 製品の使用によって環境破壊が引き起こされたこと | 2. 製品そのものに安全性を欠く「欠陥」があること | 3. 製造者が市場のシェアを独占していること | 4. 製品の販売価格が適正な範囲を超えていること |
|----------------------------|---------------------------|------------------------|--------------------------|

問11 外国の為替相場において、1ドル＝100円であった状態から、1ドル＝120円に変化した場合のように、他国の通貨に対して日本円の貨幣価値が相対的に低くなる現象を何といいいますか。（2023年 京都府公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|-------|--------------|-------|
| 1. デフレーション | 2. 円高 | 3. スタグフレーション | 4. 円安 |
|------------|-------|--------------|-------|